

東
西
南
北



猪鼻古墳跡

大学病院のある猪鼻台・矢作台
一帯には古墳跡が次山見られる。
特に病院敷内及び周囲には七つの
樹立が群がっており、この樹立の
根本は、三三三の碑石があ
り、牛頭天王などと記してある。
土地の人はいくつか七つ塚又は七天
王と呼び、七持門の伝説と、また
は妙見菩薩信仰（妙見は北斗七星
を捧持する）と関係づけられても
参詣する人がある。特に妙見信仰
は、関東平氏の一人千葉氏が城
内に妙見を祀って以来、根深く定
着している。

（写真上・矢作台古墳跡よ
り大学病院を望んで）

永野教授を囲んで

五五クラス会

昭和三十年卒のクラス会（五五）は、かねていっているように、ほかの近づくかとする人々は、きれいな
会が松野・山本両氏のお世話を
六月七日群馬県伊香保温泉ホテル
「ニューオーモリ」で行なわれた
今日は、若狭田雄氏（東京
女子医大消化器病センター教授に
昇任されたお祝いの会もかねて行
なわれた。卒業後十四年とも
なるが各自が各方面に発展されて
いるのは勿論だが、この日は二
十数名のものが一泊して同じ所に
集り昔話や各自の近況や大学問題
等について話し合った。会が進む
につれて、在学時代を彷彿させる
身ぶりや話し方が出て、多少とも
毛の少なくなったものや白いものが
まじったという変わったところのほ
か、全く一十年前の時のように
った様になり、湯の街のきれいな
れいどをまじえた会食のあと
は、二次会組、外出組、麻雀組等
に分れて、初夏の短夜をすごし
た。のびのびとした雰囲気とい
われた山本君は当時以上に力をつ



五五クラス会の面々（6月9日、伊香保温泉にて）

ドイツ便り

リンダウ・ノーベル賞

受賞者会議

一九五一年から毎年、スイス・リンダウに大学を計
ドイツの国境にあり、ライン川の、私の身近なところではゲッ
源であるボーデン湖の島リンダ
ウでノーベル賞受賞者の会議が開
かれていて、今回開催されている
は、関東平氏の一人千葉氏が城
内に妙見を祀って以来、根深く定
着している。

一九五一年から毎年、スイス・リンダウに大学を計
ドイツの国境にあり、ライン川の、私の身近なところではゲッ
源であるボーデン湖の島リンダ
ウでノーベル賞受賞者の会議が開
かれていて、今回開催されている
は、関東平氏の一人千葉氏が城
内に妙見を祀って以来、根深く定
着している。

物故会員

四十二年・四十三年度
に死去した者

山崎 昇 (大八年)	谷崎 常松 (明四十二年)
三井 邦利 (大十年)	伊藤 奇策 (明四十二年)
海老沢 忠義 (大十三年)	吉江 盛雄 (明四十二年)
長谷川 徹 (大十三年)	野口 隆三 (明四十二年)
小松崎 孝 (大十四年)	岡本 顯藏 (大十四年)
梅田 虎雄 (大十四年)	杉浦 勇 (大十四年)
岡田 勝助 (大十五年)	下山 季治 (大十五年)
原 正博 (大十五年)	山崎 豊治 (大十五年)
多田 富士夫 (大十六年)	伊藤 俊一 (大十七年)
青木 富雄 (大十八年)	増田 孝 (大十七年)
久賀 冬雄 (大十九年)	深沢 誠一 (明三十八年)
田口 一美 (大二十二年)	本間 健吉 (明三十九年)
脇坂 清雄 (大二十四年)	佐藤 金司 (明四十年)
石原 尚 (大二十五年)	外山 直市 (大二十五年)
小林 丘 (大二十五年)	金子 正雄 (大二十五年)
西 榮松 (大二十五年)	布庭 卓爾 (大二十五年)
内藤 潤 (大二十五年)	結城 準 (大二十五年)
昭和四十二年以前に 死去した者	金沢 要 (大二十五年)
山崎 明 (明三十八年)	中村 秀夫 (大二十五年)
山崎 泰造 (明四十年)	

同窓会からの
お知らせ

十月六日早晩、44年度研修会を
者の一部者によって、記念講堂とし、鈴木同窓会長および有
が突然封鎖されました。その詳細は、九日午後講堂におもむ
については別報の通りですが、本々、右の趣旨を伝え、資料等の保
講堂は同窓会先輩ならびに千葉県全庁については充分留意する旨、約
市の方々の芳志によって建てられました。しかしながら、二千
れたものであり、中には九十年を三日現在封鎖は依然として解かれ
越える千葉大医学部の歴史を伝えて居らず、しばらくの間は同窓会
る資料および同窓会事務局関係一切事務の遂行や、会員各位との連絡
のものが入れられてあります。ご迷惑をおかけ
るのには同窓会としては緊急に
常任理事会を開き、封鎖を解除し
講堂内の資料および器物を搬出
おける各種動物の「進化」と生
題して講演して第一日を終った
第三、四日は生化学の日であ
が演者名を後にあげるのみで他
報告をゆずるとするが、各国政
の援助でフランス・イギリス・オ
イストリア・スイス等から若い研
究者、学生がそれぞれ二〇人づ
位、これまた各機関の援助でや
て来たドイツの学生に交じり、熱心
に講演を聞いていた。この学問の
香りの高い雰囲気の中で、一日も
早く大学の改革を終り、この会議
に受賞者送れる大学に生まれ変わ
ることを祈りながら、そして改
革にあっても常に学問を忘れぬ学

明日のために
今日ものむ
ポポンス
シオノギ製薬

仲代達矢

組織呼吸促進
組織栄養改善
末梢血管拡張

損傷組織賦活剤
E-クリダン 錠・注
(包装) 錠 500T, 1000T, 5000T
注 (筋注用) 1×5, 1×50

日研化学株式会社 (文庫贈呈)
東京都中央区日本橋通1-5